

英語教育推進事業報告書

1. 実施校区の概要

(1) 実施中学校区数 1 中学校区

(2) 実施校区名

千早赤阪村立中学校区

学校名
千早赤阪村立赤阪小学校
千早赤阪村立千早小吹台小学校

2. 取組の状況(※資料等あれば添付してください。)

(1) 実践研究校に対する指導・助言の実施状況

	内容	学校名
4月13日	○「使える英語プロジェクト事業」についての事業趣旨説明及び取組の方向性について ○千早赤阪村英語推進についての説明	・千早赤阪村立中学校 ・赤阪小学校 ・千早小吹台小学校
5月12日	○「使える英語プロジェクト事業」に係る予算執行についての説明 ○各学校における具体的な取組みについて	・千早赤阪村立中学校 ・赤阪小学校 ・千早小吹台小学校
7月27日	○「使える英語プロジェクト事業」に係る千早赤阪村における具体的な取組みについて ○英語教育に係る実技研修会	・千早赤阪村立中学校 ・赤阪小学校 ・千早小吹台小学校
9月5日	○各学校における外国語活動及び英語科の取組み状況(1学期のまとめ・2学期以降の計画)について	・千早赤阪村立中学校 ・赤阪小学校 ・千早小吹台小学校
11月30日	○南河内地区小学校教育研究会外国語部会における公開授業(赤阪小・千早小吹台小) 指導助言:大阪成蹊大学教授 ※中学校英語教員。管理職も参加	・千早赤阪村立中学校 ・赤阪小学校 ・千早小吹台小学校
12月26日	○大阪府教育センター研究フォーラム部会発表(「使える英語プロジェクト事業」に係る取組み)	・千早赤阪村立中学校 ・赤阪小学校 ・千早小吹台小学校
1月27日	○千早赤阪村教職員研修(小学校外国語活動) 公開授業(千早小吹台小学校) 講師:大阪樟蔭女子大学 教授	・千早赤阪村立中学校 ・赤阪小学校 ・千早小吹台小学校
2月28日	○千早赤阪村教職員研修(小学校外国語活動) 公開授業(赤阪小学校) 講師:大阪樟蔭女子大学 教授	・千早赤阪村立中学校 ・赤阪小学校 ・千早小吹台小学校
3月1日	○平成23年度「使える英語プロジェクト事業」に係る総括及び平成24年度の計画について	・千早赤阪村立中学校 ・赤阪小学校 ・千早小吹台小学校
月 日		

補足説明資料1

(2)取組の成果及び課題(各学校及び中学校区としての成果又は課題を記入してください。)

取組内容	成果	課題
指導方法の工夫及び改善 並びに家庭学習教材の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○南河内地区外国语部会の研究授業を本校で行い、全学年で研修を深めることができた、幼・小・中連携の上に立った1~6年生の指導案を整備・再編することができた。HP上に外国语活動の様子をアップロードし、家庭からいつでも授業を見るができるようになれた。 ○学級担任が中心となりALTとのTTによる指導を進めている。アイコンタクト・スマイルを意識しながら、相手の言うことを聞こうとする態度、自分の伝えたいことを分かりやすく伝えようとする態度を意識しながらコミュニケーションを図れるようになってきている。 ○プロジェクト事業とともに習熟度別授業においても、コミュニケーション(自己表現)を重視した授業を行なうことができ、英語に対して苦手な生徒も意欲的に取り組む姿を見られた。特に、話すこと、聞くことに対してほとんど抵抗感なく取り組んでいる。書くことに対しても意欲的に頑張る生徒が徐々に増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○転勤に伴う教諭の入れ替わりや学年移動で今までの外国语活動をどのように伝え、引き継いでいくのかを考えいかなくてはならない。幼・小・中連携を踏まえた外国语活動カリキュラムを組み立てているが、小学校外国语活動から中学校英語への接続について更なる研究が必要になってきている。 ○目標をきちんと持って、必然性を持った活動をより多く取り入れるように単元構成を再確認していく必要がある。 ○授業で集中して取り組み、理解もできているが、学習の定着度という点では、授業での復習の充実を図り、家庭学習との相乗効果で学習内容を定着させていくことが課題となっている。単調になりがちな家庭での単語の読み書きや教科書本文の読みの練習など、生徒の家庭学習での意欲を維持することが難しく、今後、改善方法を検討していく。
英語教室の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○「使える英語プロジェクト事業費」により、英語教材、CD、DVD、机椅子、整理棚等が整備され英語教室での授業が活発になった。簡単なゲームやアクティビティで使う小物も整理されているので多種類の外国语活動をすぐに展開できる。児童にスピード感のある外国语活動を提供できるようになった。 ○1年生は、教室で英語活動を実施しているが、2~6年生は、英語ルームで英語活動を実施している。今回のプロジェクトでの予算で、教材や教材を整理するためのボードを買っていただけたので、利用しやすくなり喜んでいる。 ○インターネットで各学年とも積極的に活用することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○配備された機器類の操作や効果的な使用法についての研修が完了していないので、これらの備品をすべての教諭が利用できるように体験を含めた研修が必要になっている。 ○電子黒板をより有効活用していただきたい。 ○本校は小規模校であり、余剰教室がほとんどないので、常設としての英語教室の設置が難しい。数学との習熟度別指導などでも英語学習室が使われることもある。掲示物等できるだけ英語に触れる環境づくりも考えてゆきたい。電子黒板を英語教室に設置することも検討している。
英語教育支援員の活用	英語教育支援員の活用実績なし。	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の英語をツールとしてのコミュニケーション活動を出来るだけ幅広く展開できるよう、支援員の配置や派遣について検討する。
英語能力判定テストの結果	<ul style="list-style-type: none"> ○当日、欠席者も数名いたが、受験した者全員が5級レベル相当、あるいはそれ以上との判定が出た。判定テストでは、リスニングテストの成績がかなり良好であると認められる。小学校からの英語に対する取り組みの成果であると考えられる。リスニングテストに対する抵抗感が全く無い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本校では村の全額補助により英語検定も受検する機会が与えられている。生徒が自己的実力に応じて次への段階の級の英検にチャレンジしていく意欲が継続できるよう、3年間を通して目標をもって頑張れるよう指導していく必要がある。

※該当する欄に取組を記入してください。必要に応じて、セルを広げたり、結合、削除をしてかまいません。

※成果物の残部があれば、添付してください。

3. 次年度に向けて(事業の成果と課題から考える次年度の方策並びに他の学校への普及方法)

<ul style="list-style-type: none"> ●前年度までの成果(活動案、研究授業案、教材、資料など)をきちんと整理・分類して活用できる状態に保つこと。(英語教室の充実も含む) ●新年度に向けて年度末反省で検討した問題点を克服できるようなカリキュラム、活動案の見直しを行なう、転任等があつても対応できるように研修を必要に応じて実施する。 ●学校HPをさらに活用して動画の公開を単元ごとにすることや、全学年共通で使える指導のてびきなど、外国语活動する際に利用できる総合的な情報発信ができるようにしていく。 ●新しいHi.friendsを活用できるように小学校1年生からのシラバスの見直しを行う。 ●各学校で研究授業を積極的に行い、村内の学校に公開していく。 ●本年度は、府の「使える英語プロジェクト」と村の英語推進プログラムの同時進行により、英語検定を実施したり、小中での英語研究授業、あるいは、大学教授を招聘しての研修会等積極的な活動ができた。特に、教育センターフォーラムでの発表の機会を得、小中双方の実績の確認にもつながった。来年度より、小学校専科加配を活用し、その担当教師を中心に小中の連携の機会を増やし、実際に授業を参観し合うなど実のある交流の機会を増やしていく。 ●平成24年度からの新学習指導要領(中学校)に則って、新しく選定された教科書を使うタイミングを見計らって、小中一貫の英語カリキュラムの再構築に取り組む。また、外国语活動と英語科学習のリンクをどのようにすれば生徒にとって連続した英語学習になるのか、実践を重ねる中で成果を出せるよう努める。 ●「使える英語」という視点において、幼小中で連携したコミュニケーション活動のシラバスについて検討を進める。 ●本村の英語推進事業の理解普及のためにも村独自での英語授業のDVDを作成について検討を行う。

平成23年度 英語検定受験状況表

	準2級 (高校中級程度)			3級 (中学卒業程度)			4級 (中学中級程度)			5級 (中学初級程度)			合 計			生徒数	受験率
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率		
1学年				2	1	50.0%	6	5	83.3%	17	17	100.0%	25	23	92.0%	43	58.1%
2学年	1	1	100.0%				33	32	97.0%	7	6	85.7%	41	39	95.1%	49	83.7%
3学年	3	1	33.3%	15	10	66.7%	9	8	88.9%				27	19	70.4%	43	62.8%
合 計	4	2	50.0%	17	11	64.7%	48	45	93.8%	24	23	95.8%	93	81	87.1%	135	68.9%
英検全体 (2011年)	495,817	178,763	36.1%	653,871	337,461	51.6%	441,287	308,455	69.9%	308,625	254,586	82.5%	2,299,426	1,168,273	50.8%		